

重要取組シート

上下水道局 経営企画室

取組項目		1 広域化・公民連携の推進
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> 上下水道事業を持続可能なものとし、将来にわたって安定的に経営していくためには、事業の基盤強化を図る必要があり、その手法の一つとして広域化及び公民連携を推進している。
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> 広域化の取組では、水道の基盤強化に向けた大阪市や大阪広域水道企業団等との連携協定に基づき、府域の大規模水道事業体間の連携を強化し、府域全水道事業体が参加する「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」を通じて、府域水道の全体最適及び広域化を推進する。そのなかで、令和5年度を開始年度とする「大阪府水道基盤強化計画（府域水道の基盤強化に向けた具体的な実施計画）」を策定する。 公民連携の取組では、さらなる業務効率化と利用者サービスの向上に向け、既存業務をゼロベースで見直し、公と民の役割分担の最適化を図っている。 令和4年度は、「水道メーター検針・料金収納等業務」「下水道管路施設維持管理等業務」「水再生センター施設維持管理業務」の3つの包括的民間委託について、次期契約を締結し、新たな業務評価指標を設定し、モニタリング体制を整備する。
スケジュール	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> 大阪府水道基盤強化計画の検討（通年） <input type="checkbox"/> 包括的民間委託の業務評価指標の設定とモニタリング体制の整備（通年）
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> 大阪府水道基盤強化計画の検討（通年） <input type="checkbox"/> 包括的民間委託の業務評価指標の設定とモニタリング体制の整備（通年） <input type="checkbox"/> 水道メーター検針・料金収納等業務の履行開始（10月）
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 大阪府水道基盤強化計画の策定（～3月） <input type="checkbox"/> 包括的民間委託の業務評価指標の設定とモニタリング体制の整備（通年）
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 下水道管路施設維持管理等業務の履行開始（4月） <input type="checkbox"/> 水再生センター施設維持管理業務の履行開始（4月）
進捗の状況	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> 府域一水道に向けた水道のあり方協議会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回ブロック会議（5月）、第2回ブロック会議（7月） 一元化専門部会 第13回作業部会での協議（7月） ⇒大阪府水道基盤強化計画の各実現方策の項目の検討 <input type="checkbox"/> 包括的民間委託の業務評価指標の検討（～7月）
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> 府域一水道に向けた水道のあり方協議会 <ul style="list-style-type: none"> 一元化専門部会 第11回専門部会での協議（8月） 一元化専門部会 第4回総会での協議（8月） ⇒大阪府水道基盤強化計画の各実現方策の項目の検討 第3回ブロック会議での協議（11月） ⇒大阪府水道基盤強化計画の各実現方策の具体的取組の検討 <input type="checkbox"/> モニタリング結果の公表に向けた検討（10月） <input type="checkbox"/> 水道メーター検針・料金収納等業務の履行開始（10月）

	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> 府域一水道に向けた水道のあり方協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・一元化専門部会 第14回作業部会での協議(12月) ・一元化専門部会 第12回専門部会での協議(12月) ・一元化専門部会 第4回幹事会での協議(12月) ・一元化専門部会 第5回総会での協議(1月) ⇒大阪府水道基盤強化計画の各実現方策の具体的取組の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・第4回ブロック会議での協議(3月) ⇒大阪府水道基盤強化計画の各実現方策に掲げる各取組の推進に向けたワーキングの設置検討 <p>※大阪府水道基盤強化計画の策定は、広域連携に関する内容の一部修正のため、令和5年度夏頃策定予定</p> <input type="checkbox"/> 「堺市上下水道局包括的民間委託に係るモニタリング基本方針」の確立(3月)	
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5-(2)都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与する KPI	—	目標値(2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 17	パートナーシップで目標を達成しよう
	寄与する KPI	—	目標値(2023年度) —

重要取組シート

上下水道局 水道部 水道建設管理課

水道サービスセンター

取組項目		1 広域化・公民連携の推進（水道管路更新事業における新たな発注手法の検討）
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> 水道管路更新事業における課題として、緻密な設計・積算を行い工事発注するため、職員の負担が大きく、完成までに時間を要していること、非開削工事、水管橋工事等では、詳細設計、地質調査、測量など多くの委託発注を行っていることなどが挙げられる。 このような課題に対応するため、管路設計において公民連携手法により、業務の効率化などに取り組む必要がある。 現在の取組状況について、令和3年度から配水支管（φ300以下の管路）更新工事における管路設計の業務効率化の手法として、概算数量設計による設計・施工一括発注方式（簡易DB）の試行を開始（1回目の試行：R3.4～R4.2）している。
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> 簡易DBによる発注工事（2回目の試行）の管路設計のモニタリングを進めながら、効果検証を行う。 検証結果等に基づき課題等があれば解決策を検討し、発注方式に反映させた上で、次回（3回目の試行）工事を発注する。 令和5年度以降の簡易DBの本格導入に向けて、仕様書等の見直しを進める。 新たに、基幹管路（φ400以上の管路）を対象として公民連携手法を用いた連携形態を検討し、対象路線及び公民連携手法の選定、事前調査・協議を実施する。
スケジュール	前期 （～7月）	<input type="checkbox"/> 簡易DB試行工事（2回目）の管路設計のモニタリング・検証（4月～） <input type="checkbox"/> 簡易DBに係る仕様書等の見直し（4月～） <input type="checkbox"/> 基幹管路の水道管路更新施設及び公民連携手法の選定（7月）
	中期 （～11月）	<input type="checkbox"/> 簡易DBの検証結果のとりまとめ、次回発注への反映（10月） <input type="checkbox"/> 基幹管路更新事業に伴う事前調査・協議及び発注内容と工程の検討（11月）
	後期 （～3月）	<input type="checkbox"/> 簡易DB試行工事（3回目）の設計、発注（3月） <input type="checkbox"/> 公民連携手法を用いた基幹管路の設計及び調査業務に係る設計書作成（3月）
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 簡易DB試行工事（3回目）の管路設計のモニタリング・検証（4月～） <input type="checkbox"/> 簡易DBに係る仕様書等の見直し・公表（4月～） <input type="checkbox"/> 基幹管路更新事業における基本設計業務の入札公告（6月） <input type="checkbox"/> 基幹管路更新事業における基本設計業務の契約締結（8月） <input type="checkbox"/> 簡易DBの本格導入（3月）
進捗の状況	前期 （～7月）	<input type="checkbox"/> 簡易DB試行工事（2回目）の管路設計のモニタリング・検証（4月～） <input type="checkbox"/> 簡易DBに係る仕様書等の見直し（4月～） <input type="checkbox"/> 基幹管路の水道管路更新施設及び公民連携手法の検討（7月）
	中期 （～11月）	<input type="checkbox"/> 簡易DBの検証結果のとりまとめ、3、4回目発注への反映（10月） <input type="checkbox"/> 簡易DB試行工事（3、4回目）の設計、発注11・12月 <input type="checkbox"/> 基幹管路更新事業における公民連携手法として管路DB方式（設計施工一括発注方式）の導入について、検討した路線では導入効果が低いことが判明し、公民連携手法による発注を中止したが、引き続き、業務効率化等の効果が発揮できる公民連携手法及び路線の検討を進める。（11月）
	後期 （～3月）	<input type="checkbox"/> 簡易DB試行工事（2回目）のしゅん工（3月）。

(様式4)

2025	堺市基本計画	該当する 施策	5-(2)都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
		寄与する KPI	—	目標値(2025年度) —
未来都市計画	堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
		寄与する KPI	—	目標値(2023年度) —

重要取組シート

上下水道局 水道部 水運用管理課

取組項目		1 広域化・公民連携の推進（水運用管理システムの更新について）
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> 水運用管理システム（平成24年度稼働）は、令和9年度に更新基準年を迎えるが、令和10年度からは新太井分岐の受水を開始する予定であり、受水開始に伴ってシステム改修が必要となることから、受水開始までに、同システムの「改修」又は「更新」を決定する必要がある。 監視対象施設で大規模な整備工事を行う際には、システム改修に多大な費用を要する。 保守点検や部品交換等にも、10,000千円／年程度の費用を要する（点検は3分割し、3年周期で実施）。 更新基準年未満でも、想定外の資材の製造中止等によって、システム更新が必要となる場合がある。 システム更新を通常の工事発注とした場合、初期費用が抑えられても、上記の点検や改修に費用を要し、トータルコストとして最適なシステムになっているかどうかは判断できない。 クローズドネットワークでシステムが構築されているため、所定の端末以外では、水運用情報を確認することができないなど、データの汎用性が低い。
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> 上記の課題を解決するため、単なるシステム更新の工事発注ではなく、設計、更新工事、維持管理、改修、運転管理を含めたDBO（デザインビルド・オペレーション）方式による発注の方向で検討を行う。R4年度はDBO導入可能性調査業務を契約し、R5年度にシステム更新の契約手法について結論を出す。 導入可能性調査に当たっては、システムの運転、維持管理及び施設巡視だけでなく、関連設備の同時更新及び維持管理その他施設管理業務等の包括的民間委託化も検討する。 DBO導入の方向性が決まったら、R5年度に発注支援業務を契約して要求水準書などを作成し、R6年度の契約締結をめざす。
スケジュール	前期 （～7月）	<input type="checkbox"/> DBO導入可能性調査業務の契約（7月）
	中期 （～11月）	<input type="checkbox"/> DBO導入可能性調査業務の実施（～11月）
	後期 （～3月）	<input type="checkbox"/> DBO導入可能性調査業務の実施（～3月）
	次年度以降	<input type="checkbox"/> R5 DBO導入可能性調査業務の完了 <input type="checkbox"/> R5 DBOの発注に係る発注支援業務の契約 <input type="checkbox"/> R6 DBO方式による水運用管理システム更新の契約 <input type="checkbox"/> R9 水運用管理システムの更新完了
進捗の状況	前期 （～7月）	<input type="checkbox"/> 当初のDBO導入可能性調査業務仕様を精査し、以下2項目に変更（4～8月） <ul style="list-style-type: none"> ● マーケットサウンディング調査（事業提案募集、精査）を直営実施 ● 導入可能性調査業務（本事業の公民連携手法選定、発注支援業務に必要な書類作成）を委託

	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> マーケットサウンディング調査を直営実施(8月～) <input type="checkbox"/> 導入可能性調査業務契約(11月)	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> マーケットサウンディング調査を直営実施(～3月) <input type="checkbox"/> 導入可能性調査業務を推進し、類似事例調査、事業方式・事業内容の検討実施(～3月)	
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5-(2)都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与する KPI	—	目標値(2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 —	—
	寄与する KPI	—	目標値(2023年度) —